



県との 庁舎交換利用について

江刺区／菊地和司 さん
きくち かずし

12月市議会で、江刺総合支所と県南広域振興局合同庁舎の交換利用について質問・答弁がありました。江刺区民としてひとこと。

合併以来、江刺の中心街の衰退は目に余る事態となっています。そのような状況下で、若者が先頭に立って地域の活性化に向けて頑張っている姿は力強さを感じられますが、若者の行動力を持ってしても一定の限界があるものと思います。そこで、県との庁舎の交換利用が実現されたならば、地域の活性化の大きな起爆剤となるのではと考えます。

江刺区民にとっては、旧江刺市役所庁舎の建設に向けて「庁舎建設のため我慢・ガマン」を合言葉に、市民・職員が一体となって建設した庁舎です。たいへんな思い入れがあります。本来は、市庁舎機能も駐車場も十分な江刺総合支所庁舎を、本庁として活用することがベストだと思いますが、現実的でないとすれば交換利用の実現を望みます。そのことが、江刺の商店街に活力を呼び戻し、多くの地域の振興に波及するものと期待できるからです。



次の議会定例会は
2月22日(金)の開会予定です
皆様の傍聴をお待ちしております。

被災地に 心を寄せて

胆沢区／阿部五月 さん
あべ さつき



先日、久しぶりに大船渡市の知人に会った時のことです。

「奥州市さんには、ほんとうに感謝しています」と言われました。「震災直後は物資の提供や被災者の受け入れをしていただき、その後、復旧作業に来てくれたり、物産展や買い物ツアーを繰り返しやっていただいている。ほんとうにありがたいです」とのことでした。

私自身は何もできていないので恥ずかしかったのですが、奥州市の官民それぞれの暖かい支援活動は、すばらしいと思いました。

私は宮古市田老の出身なので、そちらへよく出かけますが、壊滅的な被害を受けた地域は、まだ、まだ復旧へは、ほど遠い状態です。避難所や仮設で長いこと我慢していた人たちが、今後の見通しが立たず、やむなく次々と地域を出て行っているようです。残った人たちも不安と焦りと、ため息の中で暮らしているように見えます。

内陸で平和に暮らしていると、ふと沿岸のことを忘れてしまいそうなことがあります。今後も官民みんなで、被災地に心を寄せていけたらいいなと、思います。

定例会インターネット中継がご家庭でも



インターネットが使用できる環境の方は、ご自宅でもライブ中継・録画中継をご覧になれます。

詳しい内容については、ホームページで紹介していますので、是非ご覧ください。

奥州市議会

検索

アドレスは

<http://www.city.oshu.iwate.jp/htm/gikai/>

議会開会中は、どなたでも議会の傍聴することができます。
12月定例会の傍聴者数 計57人（延べ人数）

議会広報 編集委員会

委員長	菅原 明
副委員長	小野寺 隆夫
委員	菅原 由和
	飯坂 一也
	佐藤 郁夫
	中西 秀俊
	千葉 悟郎
	藤田 慶則

あとがき

北上山地が候補地となっている国際リニアコライダー（ILC）の技術設計報告書が完成報告されるなか、今定例会において活発な議論が展開されました。ILCはアメリカのシカゴ・スイスのジュネーブ近郊のほか数ヶ所と、日本においては北上山地と佐賀県・福岡県境の脊振山地が候補地とされています。報告書によれば、日本の2ヶ所は建設可能との報告がなされました。

世界でただ一つの施設で立地が実現すれば、国際科学都市の形成を含め、地域経済に計り知れない効果が期待されます。北上山地は有力な候補地となっていることから、市民の関心を更に高め、立地に向けて全力で取り組むたいものです。

（編集委員 佐藤郁夫）